平成28年9月23日

中学校３年間における放射線授業に関する

公開パネル討論の開催について

主催：NPO法人放射線教育フォーラム

* **開催趣旨**

平成２８年度から使われ始めた中学校理科教科書は、福島での原子力災害の経験を踏まえ、

放射線に関わる記述が充実し、その活用が期待される。しかし、教育現場では、放射線授業

の経験不足や現状における授業時期が３年の３学期と入試時期に重なる教科書が多いなど、

授業実践には課題が指摘されている。

ＮＰＯ法人放射線教育フォーラムは、過去３年間にわたって、全国各地における放射線授

業の実践の交流を図るなかで、本年７月の公開パネル討論において新しい教科書による中学

校３年間を見通した放射線のモデル授業を提案した。この提案のなかで、光（１年）や電流

（２年）の単元における発展学習の扱いとして科学としての放射線の特徴に触れ、興味・関

心を誘発し、３年の最終単元「エネルギー資源」での原子力発電を含むエネルギー選択の議

論へと、放射線を科学的に考える力を段階的に育む授業計画を提示した。

これらの放射線授業が３年間で効果的に実践されるためには、中学校理科の学習目標に合

わせて、文科省が示している授業の４つの評価規準、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技

能・表現」「知識・理解」の観点をより具体化して、「つけたい力」を明らかにすることが、

次の段階で重要と考えている。

このため、今回の企画では、全国各地の意欲的な中学校理科教員を招いて放射線授業の実

践報告をしていただき、基調講演及び会場参加者を交えた公開パネル討論を実施する。

**〇 開催概要(プログラムは検討中)**

タイトル：　　　公開パネル討論「中学校３年間における放射線授業」

開催日時：　　　１１月１３日（日）１３:００～１７：３０　(１８時から懇親会)

開催場所：　　　東京慈恵会医科大学高木２号館南講堂

参加対象者：　　教職員及び一般（約１００名）

テーマ：　　　　中学校３年間を見通した放射線授業とその継続的改善方法について

実践報告者：　　福島県田村郡三春町立三春中学校　坂本　晴生

栃木県小山市立絹中学校　島田　雅人

東京都世田谷区立千歳中学校　青木久美子

熊本県合志市西合志南中学校　小林　信一

基調講演：　　　理科授業の評価について(講演者は文部科学省担当者と調整中）

モデル授業提案者： 宮川　俊晴（放射線教育フォーラム）

パネリスト：　　 　実践報告者、講演者及び授業計画提案者

コーディネータ： 立教新座中学校・高等学校　渡部　智博

資料代：　　　 １０００円以上

ブース展示：　　　検討中